

放射能を広げないために、あなたの力を貸してください！

八尾市上尾町の焼却施設は大阪市が所有しています。その大阪市長の橋下さんは、「瓦礫を引き受ける！」と表明しています。このまま市民が反対の声を上げなければ、八尾の空気と大地が放射能で汚染されてしまいます。

〈震災がれきの受け入れって、何が問題？〉

疑問1 東北のがれきって、放射能が付着しているの？

⇒3月の原発事故で広く放射性物質が飛び、岩手県や宮城県のがれきにも降り積もりました。例えば文部科学省発表の岩手県(盛岡)の放射性セシウム月間降下量(2011年3月~6月の合計)は、2992MBq(メガベクレル)/km²です。陸前高田市の仮置き場に置いてある繊維からは、1480Bq/kgの放射性セシウムが検出されています。



疑問2 普通の焼却場で放射性物質を焼却して大丈夫？

⇒大阪府はバグフィルターがあるから安全と言いますが、一般の焼却場は放射能専用には作られていません。バグフィルターでは放射性物質は除去しきれないこともわかっています。猛毒の放射性セシウムは高温焼却でガス化、フィルターを抜けて大気へ。住民はそれを吸い込むことで被ばくします。また清掃工場などではトラブルが多く、もしトラブルが起これば大惨事に。

疑問3 被ばくするなんて、聞いてないけれど？

⇒「作業員、住民の被ばくは避けられない」と、はっきり大阪府は「瓦礫検討会」で発言しています。ただ、テレビや新聞では公表されてないだけです。

疑問4 少量の放射性物質なら平気なのでは？

⇒問題は吸い込むことによる内部被ばくです。体の中に入った放射性物質は、体の中で放射性物質を出し続け、細胞を攻撃し続けるのです。「放射性物質は微量でもたいへん危険」です。国や大阪府は、外部被ばくの影響だけを言って、内部被ばくの影響はほとんど無視しています。

疑問5 埋立地は、汚染されないの？

⇒がれきは数十万トン、約2年間の間、毎日焼却埋め立てされます。焼却で33~60倍に濃縮され、高濃度汚染灰になります。焼却灰は細かい粒子なので粉塵が舞い上がり、普通の状態で近づくことはできません。それを大阪湾に埋めると放射性の排水で海が汚染され、陸地に埋めると汚染された排水が川や下水に流されます。地下に水が染み出すと、水質汚染の危険があります。その危険な灰の一部はセメントなどに加工してよいことになっています。

疑問6 では、被災地の応援はどうするの？

⇒「放射性の廃棄物は、動かしても燃やしてもいけない」というのが世界のルールです。

被災地に迅速に安全な処理施設を建設し、その技術や費用を支援するべきです。実際そのほうが被災地に雇用が生まれ、処理費用も大阪ではなく、被災地に行くので、そうしたいという被災地の方々は多くいます。

放射能は少量でも危険です。そして、消えることがありません。大阪府は平成24年春から瓦礫を運び込む予定です。住民がいま反対の声をあげなければ、大阪はとりかえしのつかない二次汚染地域になります。

どうか、請願書の署名に協力してください。そして大阪府や八尾市、議員さんにも反対の声を届けてください。周囲にもこの事実を伝えてください。よろしくお願ひ致します。